建交労　全国青年部

青年部ニュース

2018年度
NO.04
2019.8.9
TEL:03-3360-8021
yamauti@kenkourou.or.jp

反核トラックキャラバン行動 2日目

愛知・名古屋駅前にて宣伝行動

キャラバン隊は静岡を出発し、愛知へ。愛知県本部の方々に出迎えていただきました。その後、名古屋駅前に移動し、11名で署名・宣伝行動を行いました。約1時間で33筆の署名が集まりました。

反核トラックキャラバン行動 3日目

京都駅前にて宣伝行動

3日目の反核トラックキャラバンは、京都駅前での宣伝行動から始まりました。関西合同支部・京都府本部の仲間が応援に駆けつけ、20名での行動となりました。雨天により約 30 分間の行動になりましたが、19筆の署名が集まりました。

↑女性部による手作りの横断幕がとても素敵です！

奈良駅前にて宣伝行動

キャラバン隊は京都を出発し、奈良県へ。奈良駅前に 12 名の仲間が集まり署名・宣伝行動を行い、12 筆の署名が集まりました。行動後の集会では日本共産党奈良市議団の山口ひろし市議、県平和委員会の川戸憲次郎理事長、県革新懇の井上巌事務局次長からスピーチをいただき、「核兵器をなくすことは私たちの大切な課題」との思いを新たにしました。

偶然の出会い
被爆者が飛び入り参加

宣伝行動中、2 人組の女性から声をかけられました。話を聞くと、なんと長崎の被爆者と娘さんで、偶然奈良へ旅行に来られており「（核兵器なくそう、との）声が聞こえて、いてもたってもいられなくなった」と署名に協力してくださいました。被爆者であるお母様は「実際に、ずるむけの体で人々が歩き回るのを見た」と語ってくださりました。

被爆 2 世である娘さんはスピーチにも参加してくださり、「被爆者の子孫も、体調不良を抱えながら生きていかなければならない。核兵器をなくさなければ、人は生きていけない」と核兵器廃絶への思いを強く訴えました。被爆者の方々の生の声は、どの情報よりも重みのあるものでした。

↑被爆者・被爆 2 世の親子が反核の思いを訴えました

キャラバン隊は、大阪へ！

奈良の行動後、キャラバン隊は大阪へ向かい、大阪府本部、関西支部の皆様に大きな歓迎を受けました。アイスの差し入れがメンバーの疲れを吹き飛ばしました。

反核トラックキャラバン行動 4日目

大阪・十三駅前にて宣伝行動

反核トラックキャラバン 4 日目は、大阪・十三駅前での署名・宣伝行動からスタートしました。大阪府本部・関西支部の仲間が結集し、22 名で行動を行いました。積極的な声かけが行われ、約４０分間で 51 筆もの署名が集まり、今年の行動で一番多い集約数となりました。大阪の熱いパワーを感じる行動となりました。

神戸・元町駅前にて宣伝行動

大阪を出発し、反核トラックキャラバン隊は兵庫県へ。応援に駆けつけた兵庫県本部の仲間と元町駅前で宣伝行動を行いました。熱い日差しが照りつける酷暑の中での行動となりましたが、カンパやおいしい差し入れなどの激励に元気をいただき、キャラバン隊は本州を離れ四国へと向かいました。

↑冷やしパインが疲れた体にしみわたります！

反核トラックキャラバン行動 5日目

愛媛・松山市駅にて宣伝行動

5 日目も気温の高い日となりました。この日、反核トラックキャラバンの最後の署名・宣伝行動が愛媛県・松山市駅で行われ、愛媛県本部・愛媛県労連青年部の方々が結集しました。「ティッシュはいらないから署名をさせて」と言ってくださる方や、じっとチラシを見て署名に協力してくださる方もおり、約 1 時間で 12 筆の署名が集まりました。

↑愛媛県労連青年部からの折り鶴を受け取りました

広島に到着！原爆資料館を見学

愛媛を出発し、反核トラックキャラバン隊はついに最終目的地である広島に到着しました。広島県本部では冷たいアイスを用意して青年部メンバーを迎えていただきました。

予定よりも早く広島に到着したため、全国青年部のメンバーでもある広島県本部の武田さんに、平和記念資料館へ案内していただきました。道中、原爆投下の目印となった T 字の橋や、原爆ドームなどを実際に見ながら資料館へ向かいました。

広島平和記念資料館は 2019 年 4 月 25 日にリニューアルし、全員リニューアル後の資料館に行くのは初めてでした。原爆投下前の活気ある広島の町、そこで生きていた人々の笑顔が一瞬で破壊された「地獄絵図」が、そこにはありました。頭で分かっていたつもりでも、実際の資料は想像以上の惨劇でした。当時の生々しい写真や映像も残っており、これは昔々の物語ではなく、つい最近の出来事なんだと改めて衝撃を受けました。青年メンバーの一人は「自分の子どもがこうなったら、自分はどうするだろう・・・」とつぶやき、核兵器廃絶への思いを新たにしました。

反核トラックキャラバン行動　最終日

広島・平和行進に参加

８月４日、全国青年部・関西支部青年部・福岡青年部のメンバー9 名と、広島県本部の仲間と平和行進に参加しました。暑い日差しが照り付ける中、核兵器のない未来を目指し、平和を願う声を上げながら広島市内を歩きました。今年のシュプレヒコールは「いいね～」や「そうだそうだ！」など、青年も声を上げやすいような掛け声の工夫がありました。差し入れの塩飴を食べながら、無事全員で約 12ｋｍの道のりを約 2 時間半かけて歩き通すことができました。

平和行進後、ゴール地点である平和記念公園に、全国からお預かりしていた千羽鶴約 7000 羽を奉納しました。

核兵器のない世界、原発のない未来が実現するまで、全国青年部はこの「反核トラックキャラバン」のたすきを、世代を超えてつなぎ続けていきたいと思います。

今年は８か所の宣伝行動で、合計 163 筆の署名を集めることができました。また、全国から集まったカンパの総額は 401,000 円でした。

キャラバン隊を受け入れてくださった府県本部の皆さま、全国からのカンパのご協力、差し入れでの激励、心のこもった折り鶴の提供など、皆さまの多大な支えのおかげで今年の反核トラックキャラバンも完遂することができました。心より感謝申し上げます。

全国からの多大なご協力、本当にありがとうございました